

新潟市内最大の潟“福島潟”の魅力を 歴史・民俗・美術資料から紹介する企画展を開催中

— 北区郷土博物館 企画展「福島潟干拓270年 潟と人々」のご案内 —

ラムサール条約湿地都市認証を受けている新潟市で、本年11月30日から12月2日まで世界湿地都市ネットワーク市長会議が開催されます。また、本年は“福島潟干拓の先駆者”といわれる山本丈右衛門が江戸時代に潟の新田開発を開始してから270年にあたります。

このことから、この企画展では干拓関係の歴史資料、潟の恵みを受けた人々を写した記録、そして豊かな自然と人の営みに心を捉えられ生み出された美術作品を展示し、潟に生きた人々、潟に魅了された人々など、さまざまな潟と人々とのかかわりを紹介いたします。以下の関連イベントも開催予定です。観覧の方々に、豊かで美しい自然の福島潟だけではない潟のあゆみや魅力に触れる機会としていただきたいと思います。

つきましては、取材及び広報にご協力いただきますようお願いいたします。

【企画展「福島潟干拓270年 潟と人々」の概要】

- ◇ 会 期 令和8年5月23日（土）～令和8年8月23日（日）
- ◇ 開館時間 9時～17時
- ◇ 休 館 日 毎週月曜日（但し7月20日は開館）、7月21日（火）、8月12日（水）
- ◇ 会 場 新潟市北区嘉山3452番地 新潟市北区郷土博物館
- ◇ 観 覧 料 一般260円、大学・高校生130円、中学生以下無料
- ◇ 関連イベント ①学芸員による展示解説会（各日とも14時から1時間程度）
6/27（土）、7/26（日）、8/22（土）
②講演会（各日とも14時～15時30分）
6/14（日）「越後平野と福島潟の成り立ち」
6/28（日）「福島潟の新田開発」
7/12（日）「福島潟にまつわる伝説と妖怪について」
8/2（日）「ラムサール条約湿地都市認証の価値と福島潟」
- ◇ その他 本企画展及び関連イベントについての詳細は、別紙のチラシ、または北区郷土博物館ホームページをご確認ください。

URL: <https://www.city.niigata.lg.jp/kita/shisetsu/yoka/bunka/kyodo/kikakuten/katatohito.html>



新潟市

お問い合わせ：新潟市北区郷土博物館（担当：曾部）

〒950-3322 新潟市北区嘉山3452番地

TEL 025-386-1081 FAX 025-388-6290

E-mail museum.n@city.niigata.lg.jp 月曜休館



国際湿地都市
NIIGATA



早津 剛「福島潟と潟来亭」2003年



寛政二年（七九〇）の福島潟の絵図

新潟市北区郷土博物館企画展
福島潟干拓270年

潟と人々

今、私たちに憩いを与えてくれる潟。
昔から新潟に生きる人々と深く関わる潟を
さまざまな分野の資料から紹介します。

60年前の潟端のくらしが
カラーでよみがえる！



令和8年
(2026年)

5/23(土) ▶ 8/23(日)

9:00~17:00

【会期中の休館日】 月曜日(7/20は開館)、7/21(火)、8/12(水)

【観覧料】 一般 260(200)円、大学・高校生 130(100)円、
中学生以下無料

※()内は有料20名様以上の団体料金です。
※大学生・高校生は受付で学生証をご提示ください。
※障がい者手帳をお持ちの方等は観覧料が免除されます。
※国際博物館の日(5/24(日))は観覧無料です。

【主催】新潟市北区郷土博物館 【協力】NPO法人 新潟湿地都市研究所

新潟市北区郷土博物館

TEL 025-386-1081
FAX 025-388-6290

〒950-3322 新潟市北区嘉山3452番地

E-mail museum.n@city.niigata.lg.jp

会期中のイベントについての詳細は
こちらをご覧ください。

HPはこちら→



ラムサール条約湿地都市認証を受けている新潟市では、令和8(2026)年11月30日から12月2日まで世界湿地都市ネットワーク市長会議(市長や行政職員のほか、湿地に関する国際機関の専門家・研究者などが集まる会議)が開催されます。多くの湿地がある新潟市の中で、福島潟は市内最大の潟です。

本年は、福島潟干拓の先駆者と言われる山本丈右衛門(現柏崎市出身)が江戸時代に潟の新田開発を開始(1756年)してからちょうど270年にあたります。このことから本展では、福島潟と人々の関係を、歴史・民俗・美術資料から紹介します。新潟市にある潟や湿地に、より親しむきっかけとなれば幸いです。



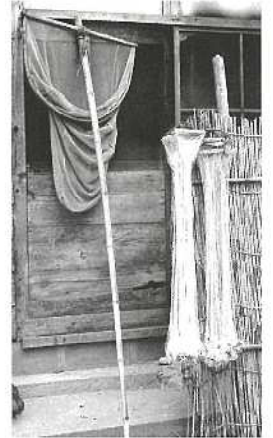
富岡惣一郎「雪、福島潟1」1993年



天保7(1836)年
福島潟御用留帳



明治24(1891)年 福島潟日誌



アオリズキ、サシアミ

関連事業

- 昔の福島潟の広さと新田開発の痕跡をめぐるバスツアー
日 時：6月6日(土) 12:30~17:00
集合・解散は、新潟市北区郷土博物館
定 員：20人(要申込・先着順)
参加費：一般 800円 ※大学生以下の金額はお問い合わせください
(当館及び水の駅「ビュー福島潟」の観覧料を含む)
申 込：5月23日(土) 9:00から電話申込開始
- 講演会(1回限りの申込も可能です)
①6月14日(日)「越後平野と福島潟の成り立ち」
講師：澤口晋一氏(新潟国際情報大学教授)
②6月28日(日)「福島潟の新田開発」
講師：伊藤 充氏(新潟青陵大学特任教授)
③7月12日(日)「福島潟にまつわる伝説と妖怪について」
講師：高橋郁丸氏(新潟妖怪研究所所長)
④8月 2日(日)「ラムサール条約湿地都市認証の価値と福島潟」
講師：若尾明弘氏(NPO法人 新潟湿地都市研究所理事長)
※講演会①~④各回の共通事項
時 間：14:00~15:30
定 員：30人(要申込・先着順)
申 込：5月20日(水) 9:00から電話申込開始
参加費：一般 300円、大学・高校生 170円、
中学生以下 40円(観覧料込) ※講座リピーター特典あり
- 学芸員による展示解説会(参加無料、申込不要、当日観覧券が必要)
日 時：6月27日(土)、7月26日(日)、8月22日(土)
各回とも14:00~

会期中のその他イベント

- ◆市民ボランティアによる常設展示ガイド(申込不要)
日 時：5月24日(日)、7月25日(土)、8月1日(土)
各日とも10:00~15:00(時間内いつでも)
※5月24日(日)は観覧無料です
- ◆ワラでナベシキ作り(申込不要)
日 時：8月11日(火・祝)
10:00~12:00、13:00~15:00
(時間内いつでも)
参加費：一般 460円、大学・高校生 330円
中学生以下 200円(観覧料込)
- ◆Kitahaku gallery 近藤充テンペラ画作品展
会 期：7月22日(水)~8月23日(日)
- ◆美術講演会
「テンペラ画の魅力と制作のおはなし」(仮題)
日 時：8月16日(日) 14:00~15:30
講 師：近藤 充氏(テンペラ画家)
定 員：30人(要申込・先着順)
申 込：7月22日(水) 9:00から電話申込開始
参加費：一般 300円、大学・高校生 170円、
中学生以下 40円(観覧料込)

次回企画展《第4回 新潟市北区こども作品展》

令和8年9月19日(土)
~ 10月12日(月・祝)

新潟市北区郷土博物館

TEL 025-386-1081
FAX 025-388-6290

〒950-3322 新潟市北区嘉山3452番地 E-mail museum.n@city.niigata.lg.jp

- 開館時間 9:00~17:00
- 休 館 日 月曜(祝休日の場合は開館)、祝休日の翌日、年末年始
- 観 覧 料 一般260(200)円、大学・高校生130(100)円
中学生以下無料

※()内は有料20名様以上の団体料金です。
※障がい者手帳をお持ちの方等は観覧料が免除されます。



交通のご案内

- 新新バイパス(R7)
豊栄ICより車で10分
競馬場ICより車で10分
- 日本海東北自動車道
豊栄新潟東港ICより
車で5分
- JR白新線
豊栄駅南口より徒歩15分

